

姫路

# 市民ら異文化に触れ

## 国際交流フェス15周年



姫路在住の外国人と市民が触れ合う「国際交流フェスティバル」(神戸新聞社など後援)が24日、姫路市本町の大手前公園で開かれた。同フェスの15周年イベントとして、世界の子どもの笑顔を印刷した傘が一斉に開き、華やかなサンバが繰り広げられた。

(小西隆久)

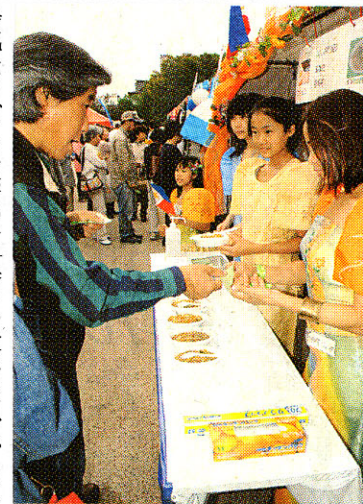
### 笑顔の傘40本満開

#### 世界の料理やサンバも



姫路城の前で笑顔の傘が満開に。いずれも姫路市本町

「笑顔」をテーマに世界で活動するアートディレクター水谷孝次さん(59)＝東京都＝や市民らが、「笑顔の傘」40本を広げたまま姫路城までパレード。神戸市のサンバチーム「フュージョン・ブレット」は本場ブラジル仕込みの踊りを披露し、



世界15カ国の料理を販売するブースが並んだ会場

陽気なリズムを響かせた。会場では、メキシコのタコスやスペインのパエリアなど15カ国19種類の料理も販売され、人気を集めた。姫路市立曾左小5年の江口繪子さん(10)は「初めてベトナムの春巻きを食べたけど、とてもおいしい」と笑顔を見せた。また、近大姫路大(同市大塩町)で国際看護を学ぶ学生らが外国人を対象に健康相談と血圧測定などを行う「まちの保健室」も開設された。